

### 亜硝酸ソーダ Sodium nitrite

#### 物質の概要

当社の製品は水溶液であり、白色～淡黄色の無臭液体です。

一般的用途として、有機合成原料、写真薬、医薬、染料原料、食品添加物、発色剤、化学プラントなどの加熱・冷却システム用熱媒体があります。（出典；NITE-CHRIP）  
当社の液体亜硝酸ソーダは、水処理剤、インク、トナー用等の一般工業用としての用途があります。

#### 人の健康に対する有害性な影響

飲み込んだ場合、血液の障害を示し、有害です。強い眼刺激を示します。長期にわたる摂取により、血液の障害のおそれがあります。遺伝性疾患、また、生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑いがあります。

#### 環境への影響

水生生物に短期間影響および長期継続的影響により非常に強い毒性を示します。

#### 化学的特性

一般名	亜硝酸ナトリウム		
商品名	液体亜硝酸ソーダ		
別名	Nitrous acid, sodium salt Nitrous acid, sodium salt (1:1)		
化学名	亜硝酸ナトリウム		
CAS 番号	7632-00-0		
官報公示整理番号	化審法	(1)-483	安衛法 公表
化学式	NaNO <sub>2</sub>		
構造式	O=N—O—Na		

#### 用途

・当社の液体亜硝酸ソーダは、水処理剤、インク、トナー用等の一般工業用としての用途があります。

## 物理化学的特性

物理的状态	液体*
色	白色～淡黄色*
臭い	無臭*
pH	8.1*
融点／凝固点	融点 -4.5℃* 凝固点 -9.5℃*
沸点	100℃*
引火点	不燃性
自然発火温度（発火点）	評価できる十分なデータがありません。
蒸気圧：	評価できる十分なデータがありません。
蒸気密度（Air=1）	評価できる十分なデータがありません。
比重	1.313(5℃)*
溶解度（水）	評価できる十分なデータがありません。
溶解度（その他）	評価できる十分なデータがありません。
n-オクタノール／水分配係数	-3.7
分解温度	320℃

\*製品情報

## ヒト健康影響安全性評価

危険有害性項目	評価結果
急性毒性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飲み込んだ場合、有毒です。</li> <li>・ 皮膚に接触した場合、評価できる十分なデータがありません。</li> <li>・ 蒸気として吸入した場合、評価できる十分なデータがありません。</li> </ul>
皮膚腐食性／刺激性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有害性を示す懸念は低いと考えられます。</li> </ul>
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 強い眼刺激を示します。</li> </ul>
呼吸器感作性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価できる十分なデータがありません。</li> </ul>
皮膚感作性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価できる十分なデータがありません。</li> </ul>
単回投与毒性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血液の障害を示します。</li> </ul>
反復投与毒性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長期にわたる、または反復ばく露による血液の障害のおそれがあります。</li> </ul>
生殖細胞変異原性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 遺伝性疾患のおそれの疑いがあります。</li> </ul>
発がん性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価できる十分なデータがありません。</li> </ul>
生殖毒性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑いがあります。</li> </ul>
吸引性呼吸器有害性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価できる十分なデータがありません。</li> </ul>
その他の影響	-

すべて製品情報です。

上記評価はGHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals : 世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、安全データシートを提供したりするシステム) に従って行なっています。

危険有害性項目	評価結果
水生環境有害性（急性）	・水生生物に非常に強い毒性を示します。
水生環境有害性（慢性）	・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性を示します。
オゾン層への有害性	・評価できる十分なデータがありません。

すべて製品情報です。

上記評価はGHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals : 世界的に統一されたルールに従って、化学品を危険有害性の種類と程度により分類し、その情報が一目でわかるよう、ラベルで表示したり、安全データシートを提供したりするシステム) に従って行なっています。

環境中の運命・挙動	
生分解性	-
生物蓄積性	-
PBT/vPvB（注）	-
土壌への移行性	-

（注）PBTとは、「Persistent, Bioaccumulative and Toxic」を略したもので、環境中に残留し、高い生物蓄積性と強い毒性を有する物質のことです。またvPvBとは、「Very Persistent and Very Bioaccumulative」を略したもので、環境中に非常に残留し、非常に高い生物蓄積性を有する物質のことです。

## ばく露

作業者ばく露	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造時は局所排気装置を備えた制御条件管理下。作業者への暴露は限定的です。</li> <li>・当該物質を原料とした製品の製造プロセスでは、配合やサンプリング、移し替え作業等で作業者への暴露の可能性があります。しかしながら、適切な保護具の着用と、適切な設備によって管理・制御することにより、実際のばく露は限られます</li> </ul>
消費者ばく露	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該物質は一般消費者にて直接使用される可能性は極めて低いです。</li> </ul>
環境ばく露	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御された製造工程から、主に大気および水環境へ排出は限定的です。</li> <li>・当該物質を原料とした製品の製造プロセスでは、配合やサンプリング、移し替え作業等で環境への排出の可能性が考えられます。しかしながら、排気設備、排ガス除害装置、排水処理施設での適切な処理により、実際の環境への放出は限られます。</li> <li>・消費者の使用では、環境への排出の可能性が考えられますが、少量・短時間のため、実際の環境への放出は限られます。</li> </ul>

推奨リスク管理措置

作業者	<b>技術的対策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局所排気および／または全体換気設備を設ける。</li> <li>・ 空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器 (SCBA) を設置する。</li> <li>・ 個人用保護具 (PPE) を設置する。</li> <li>・ 取り扱い場所に、洗眼設備や手や全身の洗浄設備を設ける。</li> <li>・ 高温下での取り扱いでミストが発生する場合は、換気装置を設置する。</li> </ul>
	<b>局所排気・全体換気</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局所排気および／または全体換気設備を使用する。</li> </ul>
	<b>許容濃度</b> <p>日本産業衛生学会および ACGIH の職業的許容濃度の勧告値は、未設定です。</p>
	<b>保護具</b>
	<b>呼吸器の保護具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 呼吸用保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。</li> <li>・ 換気設備の機能の低下等の緊急時および漏洩時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器 (SCBA) を着用する。</li> </ul>
	<b>手の保護具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手の保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。</li> <li>・ 不浸透性保護手袋、耐アルカリ性保護手袋（天然ゴム、塩化ビニル、ネオプレン、シリコンゴムなど）を着用する。</li> </ul>
	<b>目の保護具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 眼の保護具は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。</li> <li>・ ゴーグル型保護眼鏡または全面保護眼鏡、防災面を着用する。</li> </ul>
	<b>皮膚及び身体の保護具</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人用保護具 (PPE) は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。</li> <li>・ 帽子、靴等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。</li> </ul>
	<b>注意事項</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 局所排気および／または全体換気設備を使用して、局所排気、全体換気を行う。</li> <li>・ 保護具を着用する。</li> <li>・ 換気の良い場所で取扱う。</li> <li>・ 屋外で取扱う場合は、できるだけ風上から作業する。</li> <li>・ 取扱い場所には関係者以外の立入りを禁止する。</li> <li>・ 可燃物から隔離する。還元性物質から隔離する。</li> <li>・ 全ての接触を避けること。</li> <li>・ ミストの発生を防止する。</li> <li>・ 取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。</li> <li>・ 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔などをよく洗い、うがいをする。</li> <li>・ 休憩場所には汚染された保護具を持ち込んではいならない。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・換気設備の機能の低下等の緊急時および漏洩時（換気の不具合、ミストやエアゾールの発生など）の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。</li> <li>・個人用保護具(PPE)は、必ず、使用地域で定められた規格に合致したものを使用する。</li> <li>・高温下での取り扱いでミストが発生する場合は、換気装置を使用する。</li> </ul>
消費者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該物質は一般消費者にて直接使用される可能性は極めて低いです。</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏洩物および漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所へ流入するのを防ぐ。環境中に放出しない。</li> <li>・残余廃棄物を廃棄する場合は、還元剤を加えて徐々に分解後、大量の水で希釈して処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。処理の際、NOx ガスの発生に注意する。</li> <li>・空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。</li> </ul>
漏出時の緊急処置	<p><b>人体に対する注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。</li> <li>・作業時に保護具を着用すること。</li> <li>・全ての方向に適切な距離をとり、漏洩区域への立ち入りを禁止する。</li> <li>・適切な保護衣を着用せずに、壊れた容器または流出物に触らない。</li> <li>・全ての着火源を取り除く。</li> <li>・可燃物を漏洩物から隔離する。</li> </ul> <p><b>環境に対する注意事項</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏洩物および漏出物処理時の廃液が、排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所へ流入するのを防ぐ。</li> <li>・環境中に放出しない。</li> </ul> <p><b>除去方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少量の場合は、漏れた液を密閉式の容器に回収する。</li> <li>・残留液を不活性吸収剤に吸収させて、安全な場所に移す。</li> <li>・おがくず、その他可燃性吸収物質に吸収させてはならない。</li> <li>・大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。</li> </ul>

### 法規制情報/分類・ラベル情報

<b>法規制情報</b>	
海洋汚染防止法	有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1）
航空法	酸化性物質類・酸化性物質（施行規則第194条危険物告示別表第1）
船舶安全法	酸化性物質類・酸化性物質（危規則第3条危険物告示別表第1）
港則法	危険物・酸化性物質（法第21条2、則第12条、昭和54告示547別表二リ）
道路法	車両の通行の制限（施行令第19条の13、（独）日本高速道路保有・債務返済機構公示）
水質汚濁防止法	有害物質（法第2条、令第2条、排水基準を定める省令第1条）
水道法	有害物質（法第4条第2項）、水質基準（平15省令101）

GHS 分類		
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分 3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2 A
	生殖細胞変異原性	区分 2
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分 1（血液）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分 2（血液）
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）	区分 1
	水生環境有害性（長期間）	区分 1
GHS ラベル要素		
絵表示またはシンボル		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	<p>飲み込むと血液の障害を示し、有害。            強い眼刺激。            長期にわたる摂取による血液の障害のおそれ。            遺伝性疾患のおそれの疑い。            生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い。            水生生物に非常に強い毒性。            水生生物に長期継続的影響による非常に強い毒性。</p>	

### 連絡先

<http://www.sumitomo-chem.co.jp/contact/>

### 発行・改訂日

改訂情報		
区分	年/月	改訂箇所
制定	2017年07月05日	-

### その他の情報

国際機関、各国当局によるレビュー	
厚生労働省、環境省	GHS 分類結果 <a href="http://www.safe.nite.go.jp/ghs/11-mhlw-2027.html">http://www.safe.nite.go.jp/ghs/11-mhlw-2027.html</a>
NITE 製品評価技術基盤機構	化審法データベース <a href="http://www.safe.nite.go.jp/jcheck/searchresult.action?cas_no=7632-00-0&amp;request_locale=ja">http://www.safe.nite.go.jp/jcheck/searchresult.action?cas_no=7632-00-0&amp;request_locale=ja</a>
OECD	高生産量化学物質 (HPV Chemicals) <a href="http://webnet.oecd.org/HPV/UI/Search.aspx">http://webnet.oecd.org/HPV/UI/Search.aspx</a>
国立医薬品食品衛生研究所	国際化学物質安全性カード (ICSC) <a href="http://www.nihs.go.jp/ICSC/icssj-c/icss1120c.html">http://www.nihs.go.jp/ICSC/icssj-c/icss1120c.html</a>



住友化学株式会社

GPS/JIPS 安全性要約書 整理番号: CKBAC2111JG4\_20160411

## 免責事項

安全性要約書は、化学産業界の自主的化学品管理の取組み(GPS/JIPS=Japan Initiative of Product Stewardship)の一環として作成されたものです。安全性要約書の目的は、対象物質に関する安全な取扱いに関する概要を提供することであり、リスク評価のプロセス及びヒト健康や環境への影響などの専門的な情報を詳しく提供するものではありません。記載内容は、弊社が発行するSDS(化学品等安全データシート)(Apr. 11, 2016)等にもとづいて作成しておりますが、いかなる保証をなすものではありません。